

子どもの病気は、小児科で。 大人になったら???

小児科は、子どもの病気が専門です。
小学生、中学生、高校生と成長していくなかで
小児科の医療スタッフは、
大人の病気にも対応していけるよう、
大人を専門にみる診療科と協力して
からだの状態にふさわしい治療を行います。
これを「移行期医療」といいます。

大丈夫！成長に合わせて 切れ目なくサポートします。



千葉大学病院 公式キャラクター
みなみまちなかまたち

移行期医療支援センター事業

小児期に治療を開始した患者さんが、
成人後も安心して治療を受けることができるように
千葉県から委託されて立ち上げたサポート事業です。
移行期の患者さんが、切れ目なく安心して
医療を受けられるように支援いたします。



移行期医療支援センターへ相談するには

患者さん

現在かかりつけの病院の主治医または看護師に
相談のうえ、下記番号にご連絡ください。

医療機関

サマリをご準備のうえ、移行期医療支援センターに
ご相談ください。



YouTube千葉大学病院公式チャンネルでも
移行期医療について紹介中

千葉県移行期医療支援センター

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学病院 患者支援部内

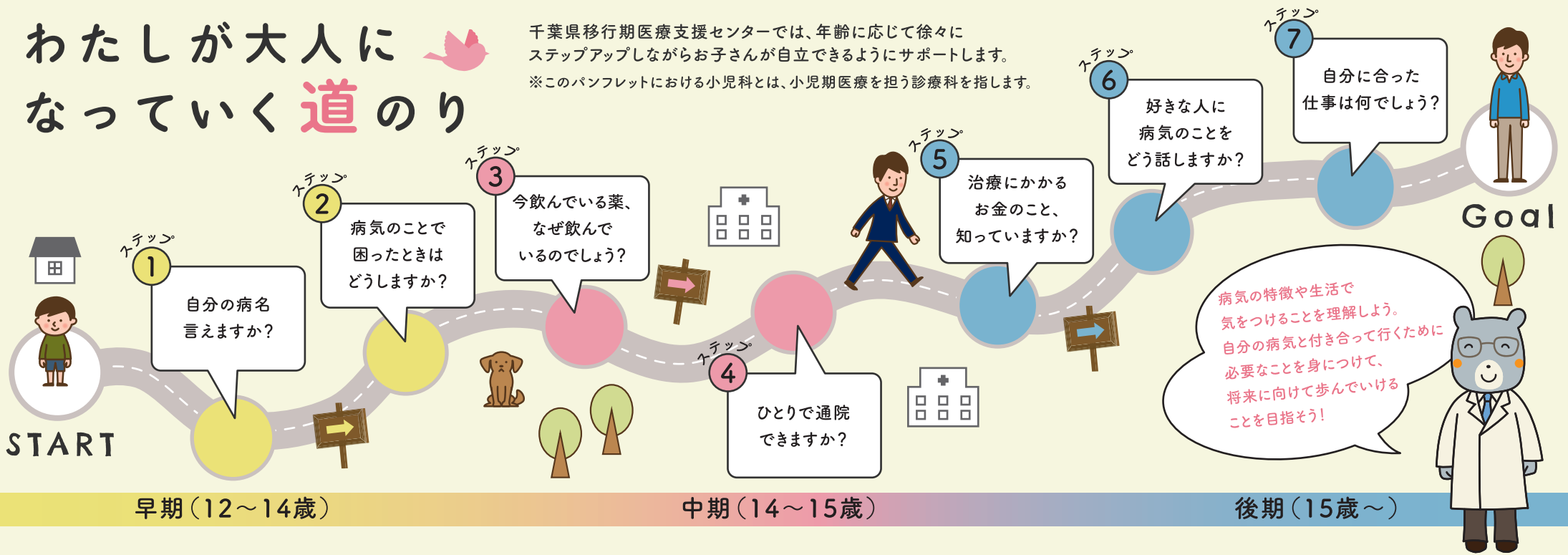
☎043-222-7171(代表)

移行期医療って なあに？



わたしが大人になっていく道のり

千葉県移行期医療支援センターでは、年齢に応じて徐々にステップアップしながらお子さんが自立できるようにサポートします。
※このパンフレットにおける小児科とは、小児期医療を担う診療科を指します。



移行パターンは多数あり!
患者さんに合わせて進めます

いろいろな役割をもった専門スタッフが
協力し合い、移行期医療をサポート

小児期医療機関と成人医療機関が連携
それらを当センターがサポートします

時期がきたら徐々に移行!

小児科 → 成人科

Aさんの場合
患者さんの様子を見ながら、徐々に成人科へと移行をしていきます。

小児科にも成人科にも通院時

小児科 → 成人科

Bさんの場合
小児科にかかりつつ、並行して成人科にもかかります。

小児科のまま、年齢なりの自立!

小児科

Cさんの場合
成人科への移行はありませんが、患者さんの状況に合わせた自立を促します。

